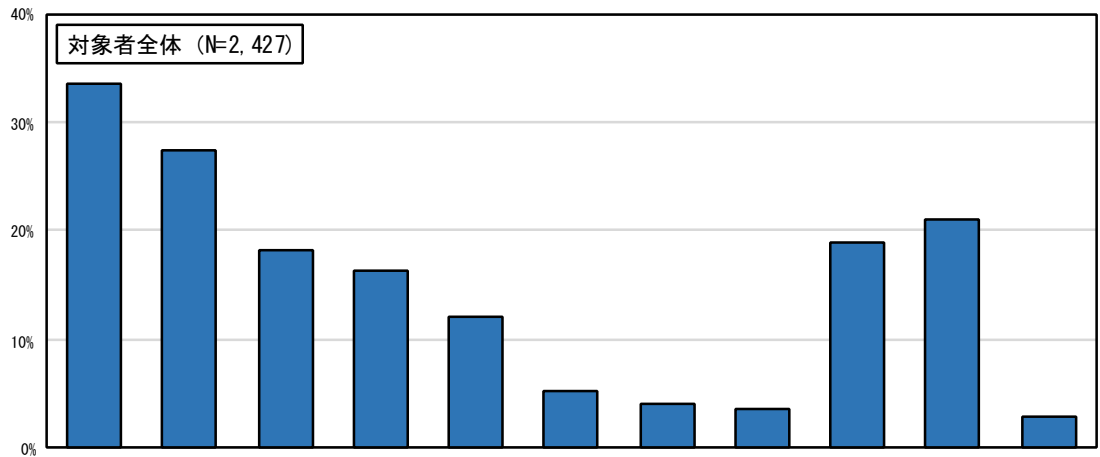


## (2) 応急手当について

### ◇ 応急手当を学んだ方法

問9 あなたは、これまでに、どのような方法で応急手当を学んだことがありますか。あてはまるものについて、いくつでも○をつけてください。

応急手当を学んだ方法は「運転免許教習の応急救護講習」が33.5%



対象者数 (%)		運転免許教習の応急救護講習	職場での研修	小・中学校及び高等学校の授業	消防局が行っている応急手当講習	医療・介護・福祉に関する資格取得時	応急手当WEB講習や関連動画の視聴	日本赤十字社が行っている救急法などの講習	その他	学んだことはあるが、方法は覚えていない	学んだことはない	無回答	
対象者全体		2,427	33.5	27.3	18.1	16.4	12.1	5.2	4.2	3.6	19.0	21.1	2.9
性別	男性	993	33.8	31.7	14.7	16.8	6.6	4.5	4.0	3.8	17.0	19.9	2.6
	女性	1,406	33.3	24.5	20.7	16.1	16.1	5.7	4.3	3.5	20.4	21.8	2.6
	その他	9	22.2	11.1	22.2	-	-	-	11.1	11.1	-	33.3	-
年代別	29歳以下	161	68.9	25.5	72.0	5.6	22.4	4.3	1.2	3.1	9.9	3.1	1.9
	30~39歳	262	72.1	38.9	42.7	9.5	20.2	3.4	5.3	1.5	17.2	4.6	0.4
	40~49歳	400	60.3	33.8	23.0	15.3	15.8	3.0	2.5	3.8	22.8	7.0	1.3
	50~59歳	411	30.4	29.9	12.7	19.5	11.9	4.4	5.8	6.8	18.5	19.5	1.5
	60~69歳	468	16.5	31.8	8.5	22.0	9.8	3.2	4.9	5.3	19.4	23.3	1.9
	70歳以上	707	8.8	15.4	3.7	16.4	6.5	3.8	4.0	6.8	19.4	38.9	5.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 応急手当を学んだ方法は、「運転免許教習の応急救護講習」が33.5%、「職場での研修」が27.3%、「小・中学校及び高等学校の授業」が18.1%となっている。

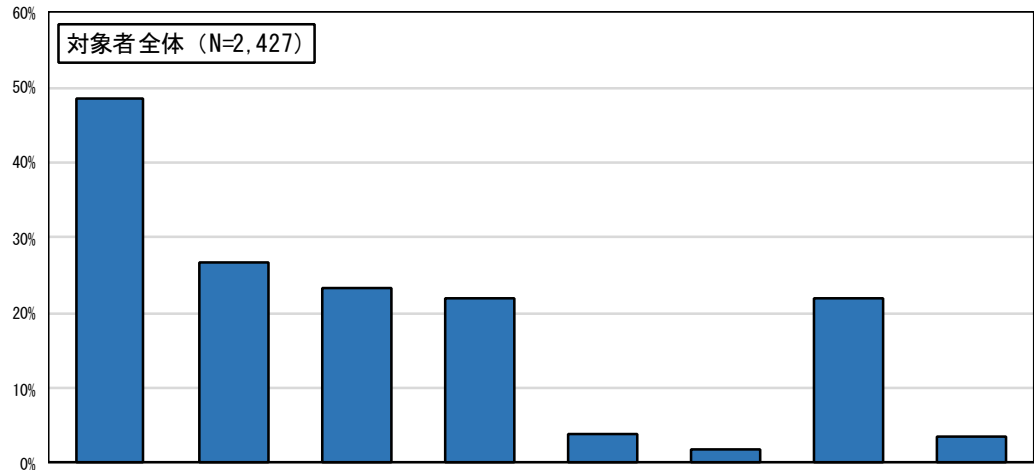
【性別】 「職場での研修」は、男性が31.7%と、女性の24.5%より7.2ポイント高くなっている。また、「小・中学校及び高等学校の授業」、「医療・介護・福祉に関する資格取得時」は、女性が男性より6.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】 「小・中学校及び高等学校の授業」、「医療・介護・福祉に関する資格取得時」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇受けてみたい応急手当の講習

問10 あなたが、これから消防局が行う応急手当講習を受けるとしたら、どのような講習を受けてみたいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

受けてみたい応急手当の講習は「救命入門コース(45分間で胸骨圧迫・AEDの使い方を学ぶ短時間講習)」が48.5%



対象者数 (%)		救命入門コース(45分間で胸骨圧迫・AEDの使い方を学ぶ短時間講習)	普通救命講習I(成人に対する応急手当を学ぶ3時間の講習)	普通救命講習III(小児・乳幼児に対する応急手当を学ぶ3時間の講習)	応急手当WEB講習(パソコンやスマートフォンなどで動画を見ながら学べるコンテンツ)	講習システムをつかった非対面式のZOOMなどのWEB会議	その他	特に受けたい講習はない	無回答	
対象者全体		2,427	48.5	26.9	23.3	22.0	3.9	1.8	22.0	3.7
性別	男性	933	48.8	27.0	20.1	22.4	4.7	1.2	24.8	2.1
	女性	1,406	48.5	26.8	25.6	21.8	3.3	2.0	20.1	4.6
	その他	9	33.3	44.4	44.4	11.1	-	-	33.3	-
年代別	29歳以下	161	42.9	35.4	37.3	28.0	7.5	0.6	19.3	1.9
	30~39歳	262	50.4	29.4	42.7	32.4	6.5	0.4	15.6	1.1
	40~49歳	400	55.8	33.0	34.8	27.8	5.0	1.0	14.3	2.0
	50~59歳	411	54.7	31.6	22.6	27.0	4.9	1.7	16.5	1.5
	60~69歳	468	51.1	27.8	19.7	21.4	3.2	0.9	21.2	1.5
	70歳以上	707	39.7	17.4	9.6	10.9	1.4	3.3	33.5	8.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】受けてみたい応急手当の講習は、「救命入門コース(45分間で胸骨圧迫・AEDの使い方を学ぶ短時間講習)」が48.5%、「普通救命講習I(成人に対する応急手当を学ぶ3時間の講習)」が26.9%、「普通救命講習III(小児・乳幼児に対する応急手当を学ぶ3時間の講習)」が23.3%となっている。

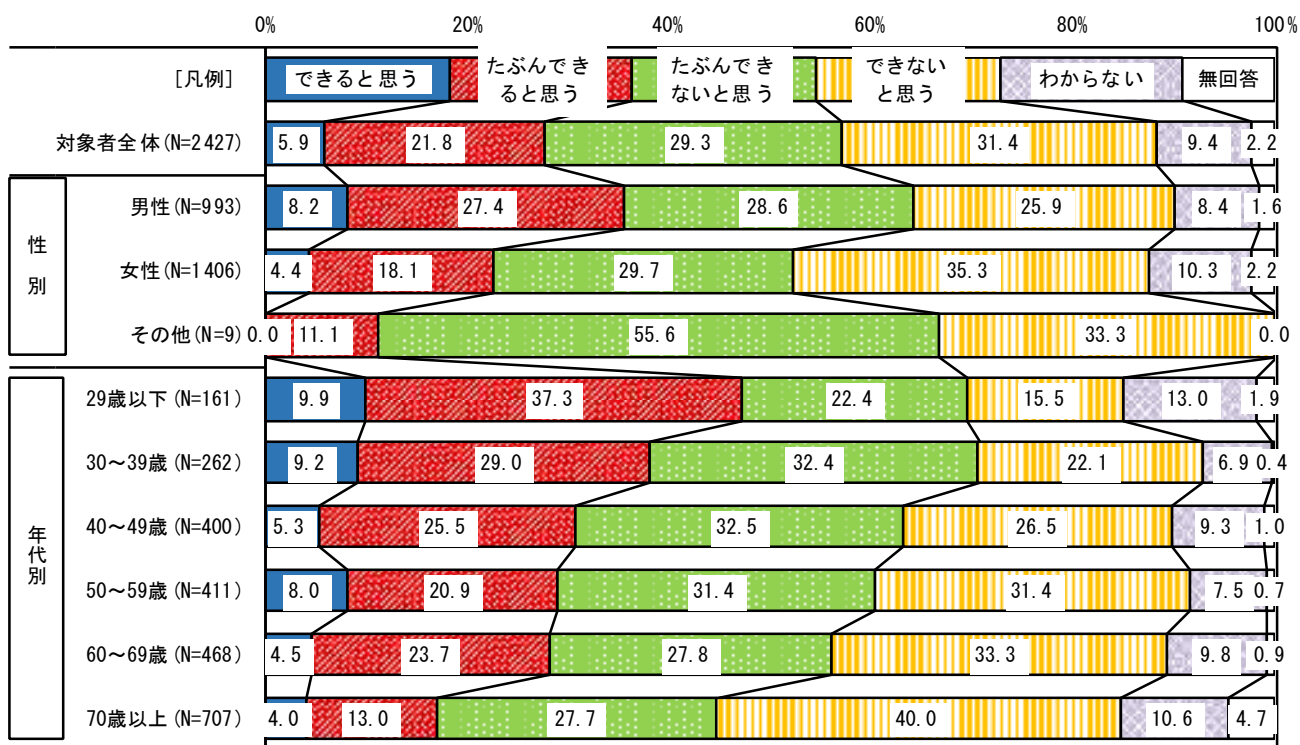
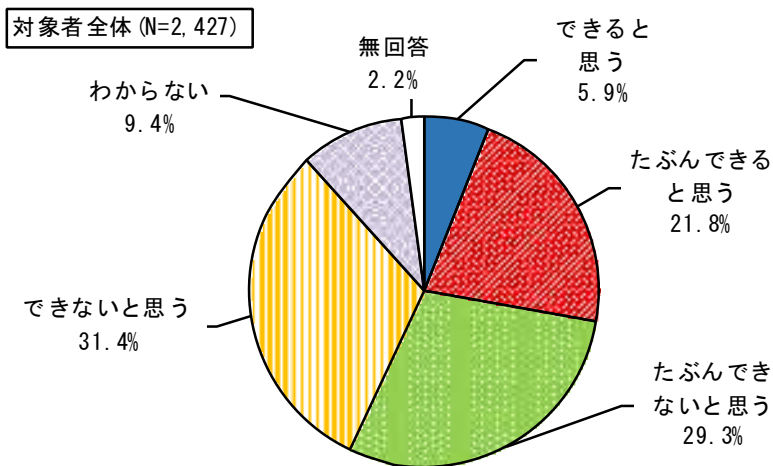
【性別】「普通救命講習III(小児・乳幼児に対する応急手当を学ぶ3時間の講習)」は、女性が25.6%と、男性の20.1%より5.5ポイント高くなっている。

【年代別】「応急手当WEB講習(パソコンやスマートフォンなどで動画を見ながら学べるコンテンツ)」が30歳代(32.4%)で最も高く、最も低い70歳以上(10.9%)と比べると21.5ポイントの差となっている。

◇応急手当の可否

問 1 1 あなたは、外出先などの自宅外において応急手当が必要な場面に居合わせたときに、胸骨圧迫（心臓マッサージ）や、AED を使った応急手当ができると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

応急手当の可否は「できると思う」が5.9%



【全体】 応急手当の可否は、「できると思う」が5.9%、「たぶんできると思う」が21.8%、合わせると27.7%となっている。一方で、「できないと思う」が31.4%、「たぶんできないと思う」が29.3%、合わせると60.6%となっている。

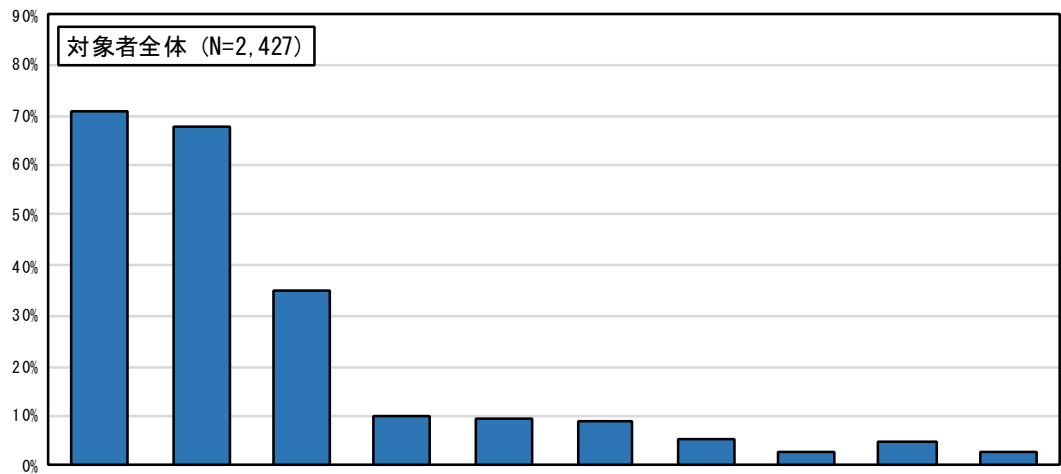
【性別】 「たぶんできると思う」は、男性が27.4%と、女性の18.1%より9.3ポイント高くなっている。また、「できないと思う」は、女性が35.3%と、男性の25.9%より9.4ポイント高くなっている。

【年代別】 「できないと思う」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇応急手当で不安に思うこと

問 1 2 あなたが、応急手当をしようとするときに、不安なことや心配に思うことは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

応急手当で不安に思うことは「知識や技術が足りないこと」が 70.7%



		対象者数	知識や技術が足りないこと	やり方を間違えて症状を悪化させないか心配	責任を問われそうで不安	接触による感染が心配	周りの注目を集めること	他人に手を触れたくない	ストレスで自分の体調を崩さないか不安	その他	特にない	無回答
		(%)										
対象者全体		2,427	70.7	67.5	35.0	9.9	9.3	9.0	5.1	2.8	4.7	2.6
性別	男性	993	66.5	63.1	34.9	8.0	9.3	8.3	2.8	3.3	6.6	1.9
	女性	1,406	74.1	71.0	35.3	11.4	9.2	9.5	6.7	2.4	3.4	2.4
	その他	9	66.7	55.6	33.3	-	22.2	11.1	11.1	-	-	11.1
年代別	29歳以下	19	60.2	71.4	48.4	10.6	11.2	9.3	4.3	4.3	3.7	1.9
	30~39 歳	161	64.5	74.8	48.1	12.2	9.5	11.5	4.6	2.3	7.3	0.8
	40~49 歳	262	75.0	74.8	46.5	9.5	13.0	9.8	4.0	2.5	1.8	1.3
	50~59 歳	400	67.6	76.4	40.9	12.4	12.7	11.4	4.6	2.4	5.4	0.7
	60~69 歳	411	75.9	69.9	33.1	9.6	9.2	6.8	4.1	2.1	3.4	1.3
	70 歳以上	468	71.9	53.5	18.8	7.9	4.8	7.4	7.1	3.4	6.2	5.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 応急手当で不安に思うことは、「知識や技術が足りないこと」が 70.7%、「やり方を間違えて症状を悪化させないか心配」が 67.5%、「責任を問われそうで不安」が 35.0%となっている。

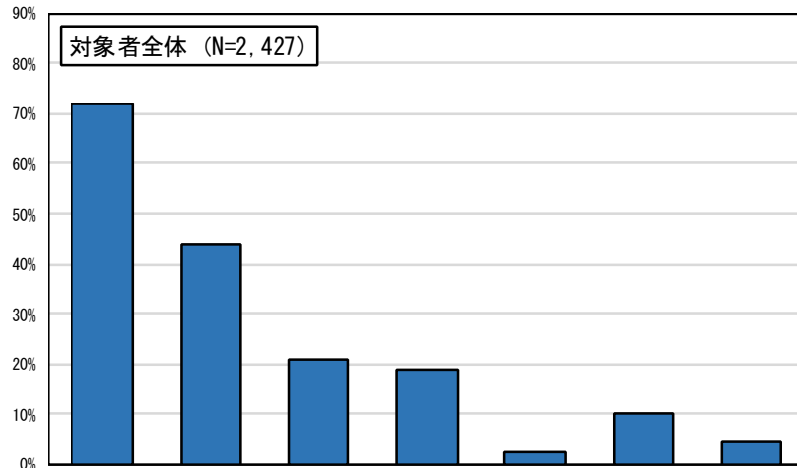
【性別】 「知識や技術が足りないこと」、「やり方を間違えて症状を悪化させないか心配」は女性が男性より 7.6 ポイント以上高くなっている。

【年代別】 「責任を問われそうで不安」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇応急手当をしようとする際に受けてほしいサポート

問 1 3 あなたが、応急手当をしようとする際、受けてほしいと思うサポートは何ですか。あてはまるものについて、いくつでも○をつけてください。

応急手当をしようとする際に受けてほしいサポートは「119番通報時に、消防職員から応急手当の方法を口頭で教えること」が72.3%



	対象者数	サポート内容 (%)							
		119番通報時に、消防職員から口頭で教えること	119番通報時に、消防職員から近くにあるAEDの場所を口頭で教えること	接触による感染が不安なときに、検査を受けられる体制があること	応急手当に関わったことで起きた心身の不調を相談できる体制があること	その他	特になし	無回答	
対象者全体	2,427	72.3	43.7	21.0	18.8	2.4	10.0	4.2	
性別	男性	993	70.0	42.0	15.7	14.9	2.2	13.7	3.0
	女性	1,406	74.2	45.4	24.5	21.5	2.6	7.3	4.7
	その他	9	66.7	22.2	22.2	33.3	-	22.2	-
年代別	29歳以下	19	72.0	61.5	24.2	20.5	3.7	8.1	2.5
	30~39歳	161	85.5	56.1	25.2	18.3	0.8	4.2	1.1
	40~49歳	262	82.8	53.8	26.8	21.5	2.3	6.0	1.5
	50~59歳	400	82.0	49.6	24.3	21.9	2.2	6.3	1.7
	60~69歳	411	77.1	40.2	19.9	17.1	1.1	8.1	3.0
	70歳以上	468	53.0	29.0	14.0	16.5	3.8	18.2	8.9

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 応急手当をしようとする際に受けてほしいサポートは、「119番通報時に、消防職員から応急手当の方法を口頭で教えること」が72.3%、「119番通報時に、消防職員から近くにあるAEDの場所を口頭で教えること」が43.7%となっている。

【性別】 「接触による感染が不安なときに、検査を受けられる体制があること」、「応急手当に関わったことで起きた心身の不調を相談できる体制があること」は、女性が男性より6.6ポイント以上高くなっている。

【年代別】 「119番通報時に、消防職員から近くにあるAEDの場所を口頭で教えること」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。